

## 南房総市小向ダム渇水に関する対応について

令和2年12月14日  
千葉県渇水対策本部

### 1 経緯

南房総市水道局が所管する小向ダムは、丸山地域、和田地域、及び千倉地域の一部へ配水している。

南房総市の発表によると、例年11月には平均で180ミリ以上の降雨があるが、今年は合計で37ミリと、まとまった降雨がないことから、12月14日現在、30.6%まで貯水率が低下している。

この状況が続くと、1月6日にも断水が発生する見通しとなっている。

### 2 南房総市の対応状況

市では、12月3日第一回渇水対策会議を開催、渇水対応として以下のことに取り組んでいる。

- ダムの貯水率の低下を抑制するため、南房総広域水道企業団からの受水量を増加。
- 住民への節水の呼びかけを、市長自ら防災無線により実施。(12/5～12/6・12/10～12/11)
- 断水地域である丸山地域・和田地域の住民を対象に説明会を開催。(12/11～12/13)  
千倉地域は断水する久保地区(19地区)で説明会を開催。(12/14)
- 他の河川などから、ダムへ原水の補給。

### 3 県の対応

小向ダムに今後まとまった降雨が見込まれず、長期にわたる断水が続く深刻な状況が想定されることから、以下の対応を進めている。

- 応援給水体制の円滑な構築に資するため、『小向ダム渇水対応タイムライン』を作成し、南房総市と共有するとともに、県内水道事業者に対して、千葉県水道災害相互応援協定に基づく応援給水の可能性を周知。
- 給水車等の必要量が確定出来次第、各水道事業者等との調整を進め、南房総市からの正式な要請とともに、応援給水を開始できるような広域的な応援体制を構築すべく、準備を進めている。
- 各家庭への配布用に、県で防災備蓄用として保管している飲料500mlペットボトル4万8千本の無償提供の用意。
- 12月9日開催の市の渇水対策本部会議へ職員を派遣し、上記の取組を説明。

#### 【県渇水対策本部の対応について】

小向ダムの渇水により今後長期に渡る断水が見込まれる深刻な状況のため、今後以下の対応について、関係各部調整のうえ、進めていく。

- ①県内各水道事業者を通じた広域的な応援給水等の実施
- ②水道使用量の多い施設等の影響への対応

#### 位置図



#### 【貯水状況】(12月14日9時時点)

貯水率：30.6%



12月9日 南房総市撮影